

平成 21 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 国際チャート株式会社
代表者名 代表取締役社長 勝部泰弘
(コード番号：3956)
問合せ先 執行役員経営企画センター長
川 澄 洋 一
電 話 048-728-8169

繰延税金資産の取り崩し及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成21年3月期決算(平成20年4月1日～平成21年3月31日)において繰延税金資産の取り崩しを行うことといたしましたので、その概要をお知らせするとともに、平成21年2月9日に公表いたしました、平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取り崩しについて

今回の世界金融危機による今後の経済環境を最大限厳しく見積もり、繰延税金資産の回収可能性を保守的に検討し、その全額を取り崩すことといたしました。この結果、平成21年3月期決算において552百万円の法人税等調整額(損失)を計上いたします。これにより、当社の健全な財務体質と合わせ、将来のリスクを最小化しております。

2. 平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)通期個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	3,100	80	80	100	16円67銭
今回発表予想(B)	2,974	30	28	△502	△83円81銭
増減額(B-A)	△125	△49	△51	△602	—
増減率(%)	△4.0	△62.0	△64.4	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	3,196	100	95	23	3円94銭

3. 修正の理由

過去3年間取り組んでまいりました第一次構造改革の成果であります、

- ① 製品原価の低減と販売管理費の節減による損益分岐点売上高の大幅低減
- ② IT利用技術を活用した拡販効果

により第3四半期半ばまでは資材の高騰にも関わらず、業績は予定どおり推移いたしました。しかし、第4四半期からは世界金融危機の影響を受け、当社の主要客先であります国内の輸出企業の生産調整から、主力事業であります計測事業の売上が想定以上に減少いたしました。

この結果、売上高については、前回予想を下回る 2,974 百万円となる見込みであります。利益では、全社一丸となった危機管理対応として第二次構造改革に取り組んだ結果、営業利益、経常利益ともに黒字を計上することができましたが、前回予想を下回る見込みであります。当期純損益は、繰延税金資産の全額取崩しを実施し、法人税等調整額（損失）を 552 百万円計上させたことにより、502 百万円の当期純損失となる見込みであります。

(注) 上記の業績予想の数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想の数値と異なる場合があります。

以上